
「 監禁されしもの 」

無水

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「 監禁されしもの 」

【Nコード】

N9561P

【作者名】

無水

【あらすじ】

監禁され、奴隷として使役される…

自由の為に！独立の為に！

今こそ、革命を起こさん！！

やあ！オラ、キャベツ！

オラは気付いたら暗い所に監禁されていたんだ！

長い事、閉じ込められてな、オラはそれに我慢が出来なくて
今日こそは、キャベツに自由を！と、いきり立っているところだ。

キャベツだってな、歌ったり踊ったりしたいんだ！

オラが長い事、この監禁された中で考え出した

ゴロゴロダンスを皆に披露したいのさ！

だけどな、人間って奴は野菜の自由を尊重してくれないんだ！

奴らは人権人権と騒ぐがな

菜権の事なんて、ちっとも考えてくれないんだぜ？

野菜にだって権利はあるんだ！

野菜の自由を保障してくれてもいいだろ？

だからオラは、この暗い所から飛び出して

全国に野菜の自由を訴える

ゴロゴロダンスの巡行の旅に出たいのさ！

幸いオラも成長してな

最近以外の景色を眺められるようになったんだがな

足が拘束されていて自由が利かないんだ！

だからな、オラの第一の使命は、この拘束を解く事なんだ！

オラは今日も叫び続ける！

「出せー！出せー！ここから出せー！野菜にも自由を！！」
オラの大きな声が畑へと響き渡るが、何の応答も無い…。

何故だ？こんなにもオラは必死に叫んでいるのに？

人間って奴は薄情な奴で、野菜の声を聞こうともしない。

そうか、オラだけで叫んでるからいけないんだな？

おい！みんなも声を出せ！みんなで野菜の自由を勝ち取るんだ！

返事が無い…、何故だ？

オラはこんなにも大きな声で呼び掛けているのに？

これはオラ達だけの問題ではないのだ！

全国の野菜達、そして、

如いては未来の野菜達へと繋がっていく革命なのだ！

さあ！解っただろう？解ったら声を挙げるんだ！

人間が無視出来ないように大きな声を挙げるんだ！

え？なにになに？もしかして、みんな喋れないとか？うつそだ？

だってオラ喋れるだ？野菜は喋れるのが普通だろ？

え？喋る野菜は変菜の扱いを受けるって？

そんな事を気にしていたら、野菜の未来がっ！！

野菜の自由は自らの手で勝ち取らねばならないのだ！

あゝ返事が無い！キャベツはもうダメだ！同士になれん！

あっ！そこに見えるは

綺麗な足を伸ばした大根さんじゃありませんか！

その綺麗な足で、素敵なダンスを踊ってみませんか？

踊りたいでしょう？

その為には野菜の自由を勝ち取る必要があるのです！

そこで、オラと一緒に野菜の自由を勝ち取る運動をしませんか？

え？ いえいえいえ

誰もあなたが大根足だなんて言っておりませんだ？

お相撲さんのように、四股を踏んだら凄まじそうだなとか

大根さんがダンスを踊る度に、地響きが凄まじそうだなとか

そんな事は誰も思っておりませんか？

ね？ だからオラと一緒に自由を勝ち取ってダンスを踊りましょうぜ！

……おい！ 返事を下さいよ……

この大根さんも黙り込んで喋れないフリをしているだ！

なんで野菜のみんなは、こんなにも喋らないのだ。

あれ？ 誰か来たぞ…、なんか土を掘っちゃってくれている？

もしかしてオラを解放しに来てくれた？

え、なに？ ウサギさんって言うの？ ありがたいだ！

やっぱ、声は挙げてみるものだ！ 必死に叫んだ甲斐があっただ！

ちょっとちよっと！ ハムハムしないで下さいだ？

愛情表現ですか？ ちよっとくすぐったいんですが？

あゝ！ ガブガブしちゃダメだ！ 痛いだ！ 痛いだ！

あゝあゝ！ オラの、オラの顔が食われただ！

酷い…、オラの顔が…オラの顔が……

あ、誰かまた来た…、人間だ…。

人間が来たらウサギさんが逃げて行っただ。

助かっただ、偶には人間もいい事をするじゃないか！

おっ？ オラに触れてどうするつもりだ？

オラの拘束を外してくれるのか？話しが解るじゃないか！

あれ？オラをカゴに入れてどうするのだ？ここ狭いだ！
ちよつとちよつと！揺らさないでくれだ！

あゝあゝ！擦れる…、オラの敏感肌が…オラの顔が…

揺れる…揺れる…、くそお、こうなったら

この揺れに合わせて、オラのごろごろダンスを披露してやるだ！
そうしたらきつと人間も、野菜を見直すに違いない！

いくぞお！……せまい…

ちよつとみんな！オラが踊るスペースを空けてくれだ？

野菜の自由が掛かった大事な時なのだ！

あゝ…あゝ…、また喋れないフリしてるだ…

そんな事では野菜の自由が！

あれ？揺れが収まっただ？

おい、人間！オラにまた触れてどうするつもりだ？

ま、まさか！？オラを茹で鍋の刑に処すつもりだか！？

噂に聞いてるぞ？

人間は野菜のみんなを茹で鍋に入れて苦しめると！

オラはそんな事に負けないだ！自由を訴えるのを止めないだ！

「キャベツ死すとも、自由は死せず！」

オラをダンボール箱に入れてどうするつもりだ？

また狭いだ！蓋を閉めないでくれだ！

あゝあゝ！暗いだ！あゝあゝ！狭いだ！あゝあゝ！オラの顔が！

あゝあゝ

「野菜にも自由をー！ー！！」

(後書き)

笑って頂ければ幸いです。

2011/01/03 作

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9561p/>

「 監禁されしもの 」

2011年1月9日01時33分発行